

一般社団法人京都府北部地域連携都市圏振興社(海の京都DMO)、丹後海陸交通株式会社

取組の概要

- ◆ 京都府丹後地域の天橋立・伊根エリアにおいて、訪日外国人観光客等の急増により、定住人口の36倍の観光客が来訪することで、**地域住民が路線バスに乗車できない状況や交通渋滞等**が発生していた。
- ◆ そこで、京都府北部7市町で構成する**地域連携DMO（海の京都DMO）**が**地域の交通事業者と連携し、「海路」と「陸路」を組み合わせた交通施策を実施**するとともに、**観光特急バスを運行し、移動手段の分散化及び観光客が移動そのものを楽しむことができる移動手段の提供等**を行った。
- ◆ これらの取組により**住民の利用環境を確保**するとともに、運賃収入の増加により**交通事業者の収益強化**に寄与。



1. 多様な主体の実質的参画

- ◆ 丹後海陸交通は、1時間に1本しかない路線バスに**地域住民が乗車できない状況等**を解消するため、「**海路の伊根航路**」及び「**陸路の観光特急バス**」を運行し、観光客が天橋立駅から各観光施設へスムーズに移動できるよう継続的に実証運行等を実施。
- ◆ 海の京都DMOは、京都丹後鉄道、宮津市と連携し、**天橋立駅の観光案内所が対応しきれない事態への対策**として、天橋立駅へ**多言語デジタルサイネージ**を設置。**丹後海陸交通と連携して観光特急バスの有人切符売り場や自動券売機**を設置。駅構内に定期航路便や天橋立ケーブルカーの情報を掲示し、観光客の移動の足への有用な情報提供にも協力。

2. 創意工夫

- ◆ オーバーツーリズム対策や交通渋滞対策として、天橋立-伊根間においては、**移動手段分散**を目的とした「**海路の伊根航路**」及び「**陸路の観光特急バス**」の期間運行を実施し、伊根エリアにおいては、「**観光船活用(伊根パーク&クルーズ)**」を実施する等、**移動手段に観光船を組み入れること**で、**移動自体の満足度の向上、路線バスへの負荷の低下と渋滞の抑制**を一体的に取り組んだ。
- ◆ 海の京都DMO等がバスへ乗車して行った地域住民等へのアンケートや自家用車による交通渋滞データの収集・分析を踏まえ、「**伊根航路**」及び「**観光特急バス**」の**増便**を実施するだけでなく、観光特急バスでは**特急列車との途切れの無いスムーズなバス接続**や、**わかりやすく支払いやすい運賃の設定**、また、**乗降方法の変更(前乗車、後降車)**を実施。



特急観光バス
8,756名利用
(R7)

伊根航路
510名利用
(R7)



路線バスから観光特急バス及び伊根航路へ分散化



交通分散事業の実施

3. 自立性・継続性

- ◆ 令和6年度には多客期に計100便以上の路線バス続行便を運行させていたが、令和7年秋期は**運行内容・乗降方法等を工夫**することで**乗務員の負担軽減**を図るとともに、**路線バス続行便0**を実現。
- ◆ 特急観光バスの取組等により**運賃収入が増加**し、実証から実走へと継続的に取り組むことが、**路線バスの維持と住民利用環境確保の両立に繋がり**、交通事業者の**持続的な事業運営**に結びついている。